



府会
日本共産党
い
のち守る
医療現場の経験活かして

- 小中学校給食の無償化
- 給付制奨学金
- 地元業者支援と賃上げ

京都府会議員・議員団幹事長
みつなが 敦彦

プロフィール ●府会議員6期、京都府議団幹事長・代表理事、吉田体育振興会顧問。左京区保育園保護者会連合会会長、朱い実保育園保護者会副会長、第四錦林小学校・近衛中学校PTA会長、左京区学童保育児童館連絡協議会議長、吉田児童館学童クラブ保護者会会長など歴任。立命館大卒、京都民医連第二中央病院（現あすかい病院）勤務、吉田上大路町在住。妻・一女一男、56歳。

政策通で、いつでも住民と同じ目の高さ
京都総評議長 **梶川 憲**
光永さんは、共産党議員団のみならず、京都府議会になくはない存在です。京都総評が、最低賃金引上げと一体に中小企業への直接支援を国に求めたとき、意見書採択で府議会の総意実現へ、他会派へ粘り強く働きかけた。光永さんの政策力と合意に高める実行力が府議会に不可欠です。

いまこそ、いのちの平等かかげて
みつなが 安井病院の時代に、わが子と院内保育園で中川先生のお子さんと同じでした。中川先生 あれからもう25年経ったことになりませぬ。私たちが若かった！
病院はリニューアルして「京都民医連あすかい病院」と名称もわかりました。創設者・安井信雄先生の「金はあるときに払えばええ」という命の平等の理念は持ち続けています。

**い
のち守る**
みつなが コロナで府議団としてハローワーク前や事業者さんにヒアリングしてきたのですが、物価高もあまって、先行きが見通せないという方が38%もおられる。食料提供プロジェクトで相談に乗っている「年金が減り、これからどうなのか」、若い方が「おばあちゃんの医療費負担が心配」という声もたくさん。そうした中、無料低額診療事業を民医連がされており、それを紹介すると、どれだけの人が救われたでしょう。民医連の役割の大きさを誇りに思いました。
中川先生 みなさん「受診どころではない」のか、定期的な外来にこられる患者さんが減っています。発熱外来はいっぱいなのですか。食料費や燃料費が高騰する上に医療の自己負担増加も予定されていて「多少の症状があっても我慢されているのでは」ないか心配です。

家族より
私は、社会に出て仕事を始めてから、お父さんの仕事を理解することが出来ました。それは、人のため、誰かのために一生懸命な姿を見て、私も身も心も学ぶことが沢山あったからです。今回の選挙でも、「政治家」と言う世の中の固定概念にとらわれず、お父さんらしく闘って下さい。自分の想いを、声に出して、助けを必要とする人のために使ってください。私はいつもお父さんの熱い気持ちや想いを近く感じていました。住んでいる場所は違っても、いつも応援しています！頑張れー！
光永あい

対談
中川 裕美子先生 × みつなが 敦彦
京都民医連あすかい病院 院長
勤務先がコロナで倒産して体調不良を我慢していた患者さんが当院に来られ、無料低額診療制度を適応して医療費の負担を軽減するようにしました。元気になって今仕事もみつかり生き生きと報告してくださっています。私も本当に嬉しいです。医療費の心配がある方はまず相談してほしいのです。
必要コロナ患者さんの入院先がみつからないという事態が起きました。救急隊から「先生受け入れ病院が見つかりません。一旦おうちにお帰しください」と言われ、急遽往診に出向いたこともあります。現場はみんな頑張っているのに、国が30年かけて保健所や急性期病床や医療従事者の体制を脆弱にできたつげが、今来ているのだと思います。医療というのは箱ものもあって動きません。そこで働く医療従事者が必要です。コロナ患者さんの入院待機センターをつくってもほとんど稼働しなかった理由がそこにあると思います。

**い
のち守る公の役割こそ**
みつなが 私は、コロナ禍を通して、公の役割、自治体の役割が本当に重要だと感じてきました。例えば左京区では保健所がなくなり、京都市で1か所、京都府でも12か所が7か所に、いざというとき、公的な公衆衛生の体制の弱さが浮き彫りとなり、現場の医療機関等へのギリギリの頑張りにもだねられたことは大きな問題で、処遇改善や保健所をもっともどすなど、議会で求めてきました。また施設や自宅での入院留め置き問題も京都府が110床も入院待機センターを作ったのに、そこには最大1日8名しか入院できていない、この点でも京都府が果たすべき役割に大きな課題があったと思います。
中川先生 光永さんから指摘のように左京区の保健所はなくなりました。全国でも30年間で保健所数は55%に減らされていますね。また感染症の治療に携わる公的な病院病床数も減らされました。急性期病床を維持できないような診療報酬の仕組みを国が作ってきたので、病床はあっても、コロナパンデミックに対応できる体制は薄くなっていったのです。保健所には電話が殺到しつながらない、酸素が

経済界から
いつも建設産業の様子を聞いてくれる
岡野 益己さん 全国建設産業団体連合会会長・株式会社岡野組会長
物価高や資材高騰で大変。そんな時に京都市は人口が他の都市より減っている。人があつてこそ経済も活性化できる。だから子育て支援や職人・技術者の賃金上げないとあかん。それは街場の工務店でも私ら地場のゼネコンでも一緒。共産党には、将来のことを考えて若い人に希望持てるようにしてほしい。
光永君は、大学の後輩で、いつも建設産業の様子を聞きに来られる。そういう人には頑張してほしい。

北山エリア
整備基本計画は白紙撤回へ！
府民の貴重な財産は100年後へつなぐ公の責任がある！
私たちがめざに開発しないで

みつなが 京都府が描く「北山エリア整備基本計画」は、まともな情報も説明もないままで、まさに府民不在です。私は立場を超えた住民運動の力に敬服しています。
みつなが 私はこのエリアに子どものころから住んでいて、身近な故郷としての思い出の地です。京都府の言う「にぎわいづくり」地域の活性化のために、植物園が「都市公園」にされたり、巨大な商業アリーナが建設されると、生きた植物の博物館の機能が失われれば、府立大学の教育環境だけでなく、閑静な北山の住環境が壊されるのではないかと、危惧しています。子どもや孫たちに、この素晴らしい風景・場所を残したいと思い、市民運動に参加しました。
こけしさん 私は入学した年に新型コロナ感染拡大が始まり、大学の施設がほぼ使用できず、課外活動も制限されている中でこの計画を知りました。知ったときは本当に驚きました。府大へは、北山の静かな環境で勉強したいと思って入学しました。このままでは、思い描いて

真面目で聞き上手
光永さんは、庶民の声に真摯に耳を傾け、それを政治に反映させてくれる人です。わたしが初めて光永さんと出会ったのも、学生向けの生活相談会の場でした。光永さんは、初対面のわたしが抱える悩みの相談に乗ってくれました。「わたしたちの思いを政治に反映させる」。これが、地方議員の役目です。保育園や学校給食の問題、授業料や奨学金の問題、最低賃金の問題など、わたしたちの日常の悩みを解決してくれるのが地方政治の場です。真面目で聞き上手な光永さんの活躍に期待しています。

対談
鯉坂 学さん
北山エリアの将来を考える会
同志社大学名誉教授
こけしさん
京都府立大学生
みつなが 敦彦
大学へ届ける活動をしています。そこで集めたアンケートに2ヶ月足らずで439件の回答が寄せられたことがそれをよく表していると思います。府に対してしっかりと説明を求め、学内でこの計画を知らない人も計画や問題点を知らせる活動を続けます。

私たちの願いを京都府に届けて
みつなが 来春、統一地方選挙はこの計画を白紙撤回させ、府民に向き合わない府政に「おかしい」の意思を示すチャンスです。そのために私は議会内外で頑張ります。
鯉坂さん 植物園や北山エリアの問題に取り組み中で、各会派の府会議員や市会議員の方もお会いし、協力のお願いをしてきました。左京区選出の光永さんには、我々の活動に理解を示し、また、貴重なアドバイスもいただきました。次の府議会選挙でも光永さんにぜひ再選していただき、私たちの意見を京都府に届けてもらいたいと思います。
こけしさん 私たちと同じ目線に立って行動し、府議会に私たちの声を届けてくれる光永さんにはとても感謝しています。府民の税金で意見の偏ったピラを撒き、学生にろくな説明もせず、見直しを求める声を無視したまま計画を進めている京都府には、不信感が募るばかりです。府の勝手な行動を止めるために、「おかしい」と言ってくれる光永さんに、これからも頑張っていたきたいと思つています。応援してます！
みつなが 本日は、お忙しいところありがとうございました。

決して偉そうにしない
光永さんは、保育園や学童、PTAなど、ずっと子どもや地域のために、一区区として頑張ってもらってきました。議員としても、コロナ禍で、皆さんに寄り添って、地域の困りごとなど真摯に誠実に取り組まれており、また決して偉そうにしないところが、いろんな立場の方から信頼され、応援されていることにつながっていると思います。吉田は、高齢化や少子化、空き家、地域コミュニティなど、山積している課題を、これからも変わりなく地元の区民として、また議員として力を貸してください。

実現した主な要求
国 10万円の現金給付（2020年）事業者への直接支援（持統化給付金、家賃支援給付金）
京都府 府内の大学などが生理用品等を配布することへの補助金 年末年始に食料提供する団体に、上限30万円の補助金
京都市 市立の小中・高・支援学校での生理用品の無償提供 中小業者への支援として固定費補助

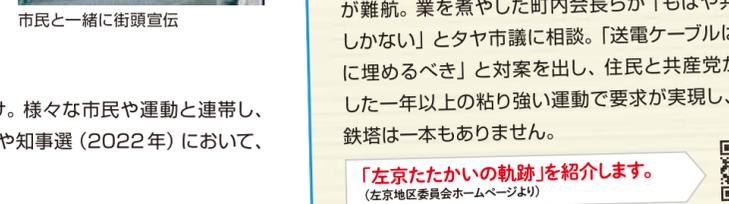
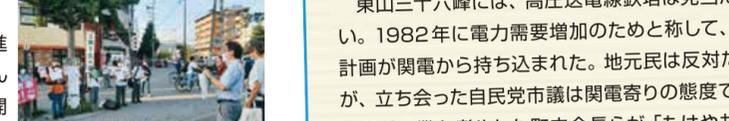
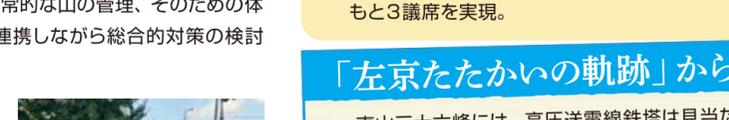
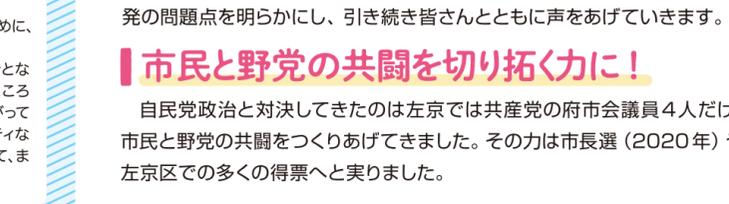
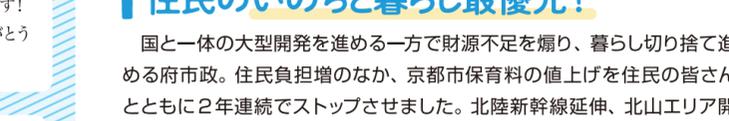
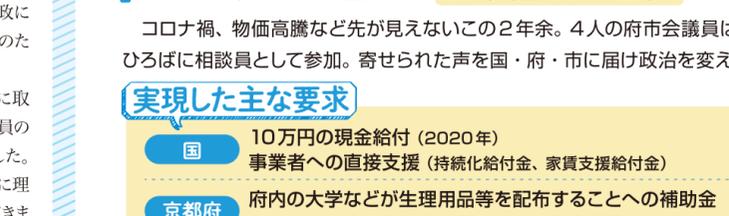
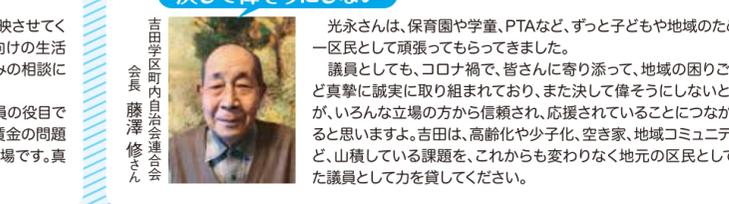
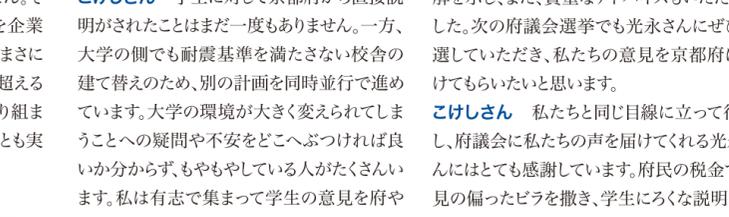
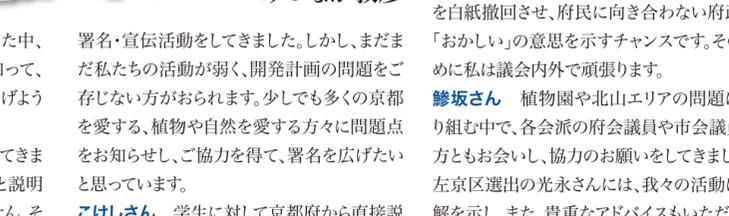
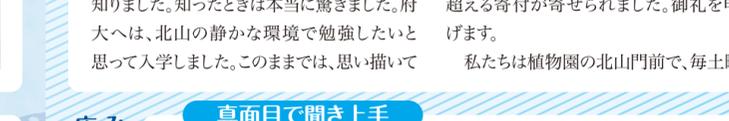
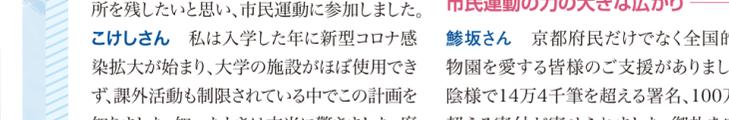
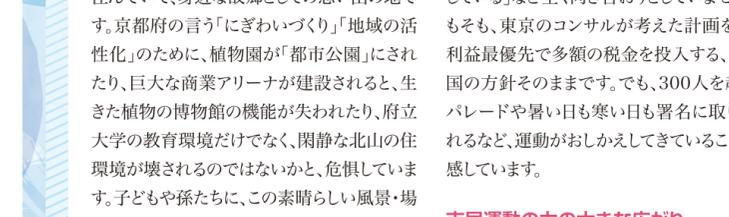
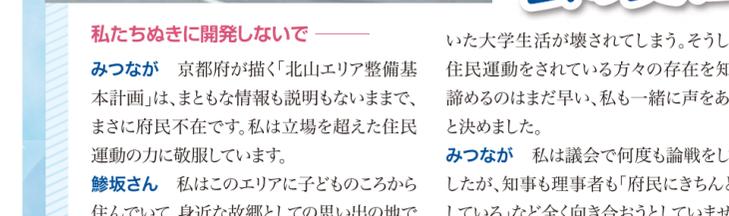
「まず現地へ」いち早く災害現場へ！
頻発する大雨や土砂災害。災害現場に国会・府会・市会連携して調査し、緊急対策申し入れに奮闘。日常的な山の管理、そのための体制強化も要求。京都府も京都市と連携しながら総合的対策の検討を約束。

住民のいのちと暮らし最優先！
国と一体の大型開発を進める一方で財源不足を煽り、暮らし切り捨てを進める府市政。住民負担増のなか、京都市保育料の値上げを住民の皆さんとともに2年連続でストップさせました。北陸新幹線延伸、北山エリア開発の問題点を明らかにし、引き続き皆さんとともに声をあげていきます。

市民と野党の共闘を切り拓く力に！
自民党政治と対決してきたのは左京では共産党の府市会議員4人だけ。様々な市民や運動と連帯し、市民と野党の共闘をつくりあげてきました。その力は市長選（2020年）や知事選（2022年）において、左京区での多くの得票へと実りました。

「左京たたかひの軌跡」から
東山三十六峰には、高圧送電線鉄塔は見当たらない。1982年に電力需要増加のためと称して、鉄塔計画が開電から持ち込まれた。地元民は態度で交渉が難航。業を煮やした町内会長らが「もはや共産党しかない」とタヤ市議に相談。「送電ケーブルは地下に埋めるべき」と対案を出し、住民と共産党が協力した一年以上の粘り強い運動で要求が実現し、送電鉄塔は一本もありません。

「左京たたかひの軌跡」を紹介します。
(左京地区委員会ホームページより)



市民にとことん寄りそい、
くらし豊かに
連帯の力で実現

日本共産党
京都市会議員 3期12年
とがし 豊

生活相談地域 下鴨、葵、松ヶ崎、吉田、浄土寺、鹿ヶ谷、銀閣寺、永観堂、南禅寺、粟田口、岡崎、聖護院、川東、新河

プロフィール ●1975年1月生。府立朱雀高校、同志社大学経済学部卒業。京都市議3期。2004年度京都市ごみ減量推進委員、だん王保育園保護者会会長、川東学区民泊対策事務局。現在、左京消防団川東分団副団長、9条改道NO! 左京市民アクション事務局、世界遺産下鴨神社と札の森問題を考える会事務局、哲学の道保勝会幹事。家族：介護職の妻、2女1男。

「財政が厳しいから」と、目の前で苦しむ人を切り捨ていいわけがない。ましてや、それを口実に福祉・くらしを切り捨て、その予算を大型開発につぎ込むなど許せません。将来への希望を生み出すことこそが「政治」。ご一緒に声をあげ、政治を変えましょう。

コロナ・物価高暮らしの叫びに
とことん寄りそう

今こそ、京都の“福祉”を立て直す
「発熱しても受診先が見つからない」「食費の節約は限界」「学費が高い」「団体客が次々キャンセル」「パワハラが苦しい」…コロナと物価高が、営業や働き方、くらしを直撃。保健所、医療、介護の体制拡充、賃上げ対策、消費税減税など、国と自治体の本気の対策を求めてきました。「今、福祉を立て直さなければ!」その一心で活動しています。



7月24日左京連帯ひろばin吉田
相談員として参加するみつなが敦彦府議、とがし豊市議



子育て全力サポート

保育料値上げストップさせた
「保育料が上がったら京都にはもう住めない」「二人目を生むのを諦める」など保護者の声をつきつけて、保育料値上げを2年連続でストップ。安心して子育てできる京都をめざします。

- ゆたかプラン
- ①子どもの医療費高校卒業まで無料
 - ②保育料値上げ許さず、保育・介護現場の賃金アップ
 - ③給食費を無料に。小学校のような中学校給食を今すぐ実現
 - ④大学生・若手研究者を応援、奨学金充実

小学校のような中学校給食
6年計画で給食調理室(64校分)を整備したら毎年28億円の財源で可能と、市議会で繰り返し提案。子どもの貧困が拡大しており、待ったなし。

請願書・意見書に対する各党の態度
「小学校のような全員制の中学校給食を求める」請願への態度



とがし豊さんを応援します 林聡子さん(吉田在住)
保育料値下げや中学校給食実現など子育ての身近な要求をじっくり聞いて議会へ届けてくれる頼れる存在です。お金のあるなし関わらず、子育てしやすい京都にしたい。応援しています。

環境・まちこわしの大型開発よりいのち・くらし・営業守り 経済再生

不要不急の北陸新幹線計画(2兆1千億円)を中止し、暮らし密着の公共事業で仕事おこし。地元中小業者を元気にします。税金の使い方を改めれば、市民負担増の撤回、福祉・教育の充実も可能です。暮らし応援と両立できるペースで財政再生を進めます。

市民の宝 敬老乗車証
敬老乗車証は、高齢者の社会参加と健康・介護予防、経済効果はなんと500億円!また、市バス・地下鉄・民間バスの経営をささえる大事な柱です。市民の宝である敬老乗車証を守ろうと徹底論戦してきました。

仕事おこしで経済再生を!
松田明さん(全京都建築労働組合左京支部長)
「耐震・防火」「省エネ」リフォーム助成を復活させてほしい。この制度は地域の防災や温暖化対策にも役立つ。仕事おこしにもつながっていました。北陸新幹線をやめて、リフォーム助成制度の復活を掲げる、とがし豊市議に期待しています。

安心して住み続けられるまちづくりを、住民とともに
市長は、財政危機と言いつつ「2021年度決算は黒字」、予定外で不急の187億円の積み立てを行いました。北陸新幹線や北山エリア開発よりも「安く住める市営住宅を」「子どもも大人も自由に集える公民館や公園を」。「住民が主人公」のまちづくりを進めます。



頼れるとがしさん 山川美保さん(年金者組合左京支部書記長)
敬老乗車証の改善反対の宣伝や署名活動、陳情書提出に取り組みました。この声に応え議会でも追求してくれたのがとがし議員。若くして頼りになります。応援しています。



松賀茂公園の林は売りどばさずに公園整備を

気候危機打開、災害につよいまちづくりへ

豪雨により浸水・下水逆流、土砂災害など左京区内でも頻発しています。2013年の大規模な土砂災害の際には、みつなが府議と連携して、京都市・京都府を動かし、森を再生させるための予算を確保。ここ数年の被害を受け、「山の手入れ」も含め総合的な対策を要求し、行政を動かしています。「気候危機」STOP、原発ゼロ・再エネ100%へ力を尽くします。



鹿ヶ谷・桜谷川上流を調査するとがし豊市議、みつなが府議

市民と一緒に活動した日本共産党 府・市会4議員の活躍に期待します。

4つの力、チームは左京区民の宝
みつながさんは府議会きつての政策通で涙もろい人情家。ひぐちさんは市の行財政「改革」の欺瞞を鋭く突く論客。加藤さんは子育て世代の議員活動に道を拓いた先駆者。とがしさんはごみ～防災～原発まで京の環境の守り手。このチームは左京区民の宝です。
京都法律事務所・弁護士 福山 和人



「だめなことばだめ」ときっぱりと言う日本共産党の4人を心から応援
食料費や燃料費が高騰する上に医療の自己負担増加も予定されていて皆さんが「症状があっても我慢されている」のではないかと心配です。元首相の国葬を国会の審議なしに決定したり、東京オリンピックで巨額の賄賂が動いたことが判明したり、政府は国民の苦しみをみているのかと言いたくなる毎日です。日本共産党はきっぱりと「だめなことはだめ」と言う政党です。私たちの暮らしに直結した問題を解決するために今度の統一地方選挙で日本共産党の4人を心から応援しています。
京都民医連あすかい病院院長 中川 裕美子

独裁国家・国のブラック企業化の防波堤
我が国はいつから独裁国家になったのか。いつからこの国がブラック企業化したのか。多くの宗教者が憂慮しています。唯一の防波堤である共産党には、ぜひ頑張ってください。全面的にエールを送ります。
無礙光院住職 阪口 慈航

議員4人 4倍以上の熱量で願いをかなえて!
左京の環境をまもる宝の4議席。区民の安全・安心のために、日夜奮闘していただきありがとうございます。4議員の連携は4倍以上の熱量で、区民の願いをかなえる牽引車。京都の地下に巨大トンネルの新幹線はいりません。
京都・水と緑をまもる連絡会 事務局長 佐々木 佳継

平和・くらし・民主主義で希望ある日本を

全国を回っていて左京区の凄さを痛感
全国を回っていて左京区の府・市議の定数計11のうち4人が日本共産党の議員という凄さを痛感します。この力で、現場に足を運び、住民の声を政治に届け、議会で迫り、区内の多様な市民の運動と共同を広げてきました。引き続き4議席を。私も共にごんばります。
参議院議員 井上 さとし

市民+日本共産党で政治を変えましょう。
和田茂雄(左京民主商工会会長)
松田 明(全京都建築労働組合左京支部長)
奥村陽子(新日本婦人の会左京支部支部長)
大西健二郎(年金者組合左京支部支部長)



みつなが ひぐち
久多、広河原、花背、別所、鞍馬、大原、八瀬、市原野、静原、岩倉、上高野、山端、修学院、一乗寺(修二を除く)
みつなが 加藤
修二、養徳、養正、北白川
みつなが とがし
下鴨、葵、松ヶ崎、吉田、浄土寺、鹿ヶ谷、銀閣寺、永観堂、南禅寺、粟田口、岡崎、聖護院、川東、新河



小くた恵二 衆議院議員
倉林明子 参議院議員
井上さとし 参議院議員